

室戸市議会だより

発行/室戸市議会
 編集/室戸市議会
 議会だより編集委員会
 住所/〒781-7185
 高知県室戸市浮津25-1
 連絡先/0887-22-5140
 題字/谷 通子



常任委員会 管内視察

6月議会 質問者

河本竜二
 池田教子
 小椋利廣
 竹中真智子
 久保田浩
 山本賢誓
 竹中多津美
 澤山保太郎

令和5年6月第4回室戸市議会定例会

会期・日程

月日	曜日	会の種別	摘要	月日	曜日	会の種別	摘要
6月16日	金	本会議	開会・提案理由の説明	6月25日	日	休会	
6月17日	土	休会		6月26日	月	休会	事務整理
6月18日	日	休会		6月27日	火	休会	事務整理
6月19日	月	本会議	一般質問	6月28日	水	休会	事務整理
6月20日	火	本会議	一般質問	6月29日	木	休会	事務整理
6月21日	水	本会議	一般質問	6月30日	金	休会	事務整理
6月22日	木	休会	大綱質疑・委員会付託	7月1日	土	休会	
6月23日	金	休会	委員会	7月2日	日	休会	
6月24日	土	休会		7月3日	月	本会議	委員長報告・討論・表決・閉会

議決結果一覧表・賛否の分かれた議案等

第4回定例会議決結果一覧表

議案番号	件名	議決年月日	結果
議案第2号	室戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	令和5年7月3日	原案可決
議案第3号	室戸市火災予防条例の一部改正について	令和5年7月3日	原案可決
議案第4号	令和5年度室戸市一般会計補正予算（第3号）について	令和5年7月3日	修正可決
議案第5号	令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	令和5年7月3日	原案可決
議案第6号	令和5年度吉良川サブセンター及び佐喜浜サブセンター施設通信系更新工事請負契約の締結について	令和5年7月3日	原案可決
議案第7号	室戸市庁舎建設事業基金条例の一部改正について	令和5年7月3日	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	令和5年7月3日	適任
決議案第1号	植田市長の虚偽答弁に対する問責決議について	令和5年6月20日	原案可決

第4回定例会 賛否の分かれた議案等

番号	件名	議員											議決結果	
		久保田 浩	池田 教子	河本 竜二	竹中真智子	田淵 信量	竹中多津美	澤山保太郎	亀井 賢夫	小椋 利廣	脇本 健樹	山本 賢誓		町田 又一
議案第2号	室戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長	原案可決 (賛10、反1)
議案第4号	令和5年度室戸市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○		修正案可決 (賛9、反2)
議案第5号	令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第6号	令和5年度吉良川サブセンター及び佐喜浜サブセンター施設通信系更新工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		原案可決 (賛10、反1)
議案第7号	室戸市庁舎建設事業基金条例の一部改正について	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○		原案可決 (賛6、反5)
決議案第1号	植田市長の虚偽答弁に対する問責決議について	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○		原案可決 (賛6、反5)

議案の説明

議案第4号関係 ◎令和5年度室戸市一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算はそれぞれ5億3,895万2千円を追加し、総額158億3,010万1千円とするものです。

歳出の主なものは、退職手当4,452万6千円、財政調整積立基金積立金2億4,000万円、価格高騰重点支援給付金9,750万円、老人憩の家解体工事費933万8千円、新型コロナワクチン予防接種健康被害救済給付費4,441万2千円、ひがしこうち誘客促進キャンペーン負担金722万7千円の追加等です。

議案第5号関係 ◎令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について

歳入歳出予算はそれぞれ8,207万2千円を追加し、総額24億3,251万7千円とするものです。

諮問第1号関係 ◎人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に 竹本 昭光 氏を推薦するものです。



6月定例会
《一般質問とその答弁》

河本竜二議員

☆防災の視点から見た市役所庁舎移転について

問 庁舎移転した場合、防災機能として何ができるか聞く。

答 津波の心配がなく、早期の災害対策本部の開催と迅速な初動体制が可能である。

問 巨額利権事業や巨額箱物建設等の実態があるのか聞く。

答 そのような事実はない。

問 庁舎移転建設した場合と耐震補強後の庁舎建て替えを含めた場合では、室戸市の負担が大きくなるのはどちらか聞く。

答 耐震補強をし庁舎を建て替える方が市の負担が

大きい。

問 耐震補強の場合に住民を守る防災計画を聞く。

答 指定避難所23ヶ所と応急仮設住宅建設用地17ヶ所の配置計画を定めている。

問 今後の防災減災対策、事前整備の計画を聞く。

答 住宅耐震推進や避難路整備、街の復興など事前復興まちづくり計画を策定している。

問 建設資材が高騰している今庁舎移転が必要なのか聞く。

答 南海トラフ地震への市民の安全安心対策に猶予はない。

問 防災機能移転の場合に本庁舎や他機関との連携、移転した防災庁舎のコストを聞く。

答 移転した担当課と本部が離れているため災害対応の連携に支障が出る。コストでは建設費に加え、

新整備にかかる色々な経費が必要になる。

問 移転先候補地の液状化対策と液状化が心配される場所への移転は大丈夫なのか聞く。

答 対策として堅固な支持層までの基礎杭打込み、地盤転圧による高強度化、地盤改良での水分量減少などの工法がある。心配のある場所への移転については、最大クラスの地震による可能性の推計であり、液状化を断定したものではない。適切な工法で安全性を確保できる。

問 市長が「豪華な新庁舎を建てると言っている」との声があるがそれは事実か聞く。

答 事実無根であり、豪華な庁舎を建てるとの発言はしていないし、そういった非常識な発想や考えも持っていない。

問 庁舎問題について、様々な分野の有識者の

協議検討を踏まえた市長の所見を聞く。

答 様々な意見を聴いたが津波の来る場所に庁舎を置いてはいけないとの意見で、耐震補強に賛成する意見は誰もいなかった。市民救援への初動体制がとれないことになるとの指摘だった。意見を伺い重要視すべきことは庁舎が倒壊するか、しないかにあわせ、津波の来る場所に庁舎を置くのか、来ない場所に移転するかの議論と判断が重要である。

問 の設置または、防災施設等の整備を今後どうしていくのか聞く。

答 整備の必要性など検証し、効果的な対策に繋げていく。

問 一斉清掃での避難路の管理を今後どうしていくか聞く。

答 県への要望と併せて避難路の維持管理に取り組み。

問 一斉清掃での道路側溝の管理を今後どうするか聞く。

答 水路の蓋など鋼製蓋に交換し、住民の意見と協力を頂き維持管理に努めていく。

問 認知症予防等や高齢者の健康維持等を図るためeスポーツを取入れてはどうか聞く。

答 既存の取り組みとのバランスやeスポーツ拡充のためのネット環境状況や高齢者の意見を聴いて検討していく。

☆津波避難タワー等の設置と今後の一斉清掃等における避難路及び側溝等の管理について



問 市民の生命を守る防災対策として、避難タワー

池田 教子 議員

☆子育て支援について

問 市長の目指す子育て支援整備における基盤整備とは、具体的にどのようなことを指しているのか聞く。

答 今後は18歳までの医療費の無償化や、ファミリーサポートセンター事業の実施に向け、具体的な手立てなどを検討することや本市の子育て支援の取り組みを広く情報発信することに加え、子どもや子育て世代、若者等に対するニーズ調査を実施し、その結果に基づき、要望の多い施策の具現化に取り組んでいきたい。

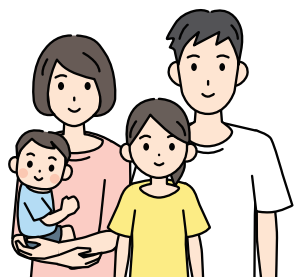
問 子育て家族が転出する主な原因は何と思うか聞く。

答 進学による学生やそれに伴う家族の転出、学校卒業後の就職又は転職や

結婚、医療や介護の課題などによる転出等、生活および雇用環境等の様々な変化によるものが要因ではないかと考えている。

問 どうすれば子育て家族の転出抑制やUターン・移住促進に繋がるのか、具体的な根本的改善策を聞く。

答 若者にとって魅力のある仕事の創出や移住対策、出会いから結婚・妊娠・出産・子育てに至るライフステージに応じた様々な支援対策を強化するとともに、医療対策はもとより教育環境に魅力的なまちづくりを推進し、地域全体で子育て世帯を応援する室戸になるよう取り組んでいく。



問 医療費の無償化について県内では19市町村が18歳までの医療費の無償化を実施しており、本市でも早期の無償化を望む。いつから、対象者は高校生か18歳までとするのか聞く。

答 本市は18歳に達する日以降における最初の3月末日までの方を対象とする方向で、9月議会には関係する条例改正や予算化について提案したいと考えている。

問 ファミリーサポートセンターの設置について、地域の会員同士で子育てをサポートする取り組みで仕事の都合による一時預かりや、病児・病後児の預かりのニーズに柔軟に対応できる子育て支援の充実是不可欠だと思いが、いつから、どのような形での設置を考えているのか聞く。

答 センター開設に向け、委託とするのか直営とするのかそれぞれの課題や

状況、手続き等を把握するとともに、委託先や子育ての手助けをする側の会員の確保などについても併せて検討している。

☆選挙の投票率向上のための環境整備について

問 市議選を除く、市長選・国政選挙において本市が全国平均を下回る投票率になっていると思うが、原因と対策を聞く。

答 原因として平成28年に導入された「合区」により県代表を選ばなくなったことや政治への関心の低下が考えられる。投票への意識向上対策として、主催者教育や広報活動の充実に向けている。

問 環境整備について、高齢者の投票を難しくする要因の大半が移動の問題であるが、投票所までが遠い地域の方達のための車による移動期日前投票所等は考えられないか聞く。

答 投票所までの移動支援や車を利用した移動期日前投票所について、今年度中に県内先進地の視察に行くことを予定している。室戸中学校等の市内27ヶ所の投票所については、少しでも利用しやすい投票所に改善していく。



小椋利廣 議員

☆市長の政治姿勢
について

問 庁舎新築・移転を断念して現庁舎の耐震補強に今後どのように取り組むのか聞く。

答 現庁舎使用と移転建て替えの比較検討する金額算出を委託実施後、議員と議論を深め間違いのない選択を考える。

選定を行う予定。
羽根小学校については、羽根中学校の統合後、中学校跡地に移転を進める。

問 室戸市立室戸診療所の開所から1年、患者数や入院患者数また、収支決算はどうか、少子化対策として小児科の誘致は出来ないか、遠隔医療による診察と治療の取り組み、多忙な院長の処遇を聞く。

答 令和4年6月の開所以来室戸診療所の総外来患者数は、月平均約767名で入院患者数は延べ187名の受入れ、令和4年度の収支決算は、5757万7256円の赤字決算で指定管理者と収支の改善に努める。小児科の誘致は赤字が見込まれることや、十分な患者対応が出来るか慎重な検討が必要。
遠隔医療の取り組みは高知大学医学部との連携を深め、進めている。室戸診療所を一人で支えている院長に感謝しており、

問 室戸中学校の高台移転とその後の羽根小学校の高台移転基本計画について聞く。

答 室戸中学校の高台移転計画の見直しにより、令和9年度に施設の完成、令和10年度から4つの中学校が統合中学校として、スタートする計画で、移転予定地は室戸高校周辺の複数個所を対象に、候補地資料作成委託業務に取りかかっており、9月の報告に基づき移転地の

指定管理者の愛生会と負担軽減の協議をしている。



問 吉良川東の川橋と佐喜浜橋と吉良川大橋の構造と改良工事計画について聞く。

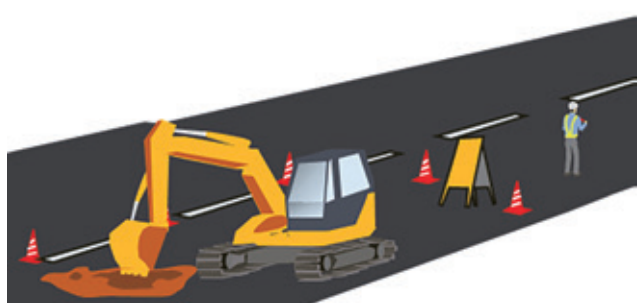
答 吉良川東の川橋の工事計画の計画設計荷重は25t、有効幅員は5m、新設橋梁は総延長54.5mで計画。仮橋の事業費は約4億8200万円、仮橋解体費用約4千万円、設計委託料は約2750万円、総事業費は約8億5600万円です。令和8年度完成予定、佐喜浜橋の計画設計荷重は25t、有効幅員は4.5m、新設橋梁の総延長は125.5mの3径間で

計画、設計委託料は約7770万円、総事業費は約7億5600万円です。令和9年度に完成予定。
吉良川大橋は、令和5年1月に国土交通省に国道55号吉良川西の川橋の北側に側道橋の設置要望を行い、交通安全対策として事業化されたので、吉良川大橋に添架されている水道管添架も検討して頂くよう協議していく。

問 ドライブイン夫婦岩附近の国道は路面が湾曲化して低く、台風時は浸水して通行止めになるが、国土交通省に道路の改良・改修工事の陳情は考えないのか聞く。

答 国道55号は日常的にも災害時にも大変重要な幹線道路で、土佐国道事務所に国会議員や県会議員、市議会の指導を頂き道路の防災対策等を強く要望していく。

問 市内のインフラ施設の整備計画を聞く。



答 道路整備計画で現在未改修の路線数は27路線、愛宕山墓園の管理条例の制定は一部の利用希望者の意見なので、他の利用希望者の意見収集を行っていく。
舟場頭首工の水門ゲート工事は、令和6年度の機能保全計画が策定出来てから必要な対策を実施。水道の止水栓及び消火栓の老朽化による危険な路面のくぼみは、関係課と連携して点検改修を検討する。

竹中真智子 議員

☆室戸市議選挙の結果について

問 即日開票された室戸市議選挙では、市庁舎の補強案を支持する候補者が上位当選を決めたが、2月の住民投票でも約7割の市民が補強案に意を示していたので、出るべくして出た結果であると思われる。

答 マスコミの問いかけには「市民の意思を尊重する」と答えていたようだが、実際に選挙結果は出たが移転建て替えの考えは変わらないようで、9月議会に庁舎関連の懸案を出すと言われている。行政を支えているのは、

市民。市民が支えているのじゃないか。いつまで民意を置き去りにしたままにするのか。今回の選挙結果をどう感じ、どう思っているか聞く。

今後の方向性としては、

庁舎の耐震対策にあわせ、津波対策についても議論を深め、現庁舎を引き続き使用する場合と移転建て替えをした場合の工事金額等、物価高騰等も踏まえ、より精査された金額で比較検討するために

現在、耐震補強・改修工事の内容を庁内で検討しているところであり、金額算出を委託業務により実施した後は、議員に説明のうえ、意見をいただきたい。

いずれにしても市庁舎のあり方という最も重要なテーマであり、市の将来も見据えてより多くの方の意見や提案にしっかりと耳を傾け、議論を深め間違った選択をしなければならぬと考える。



☆給付金の支給について

問 最近の物価の値上がり率とそのスピードは尋常ではない。光熱費や食料品等の価格高騰に考慮し、65歳以上の高齢者に対して、3万円の給付金の支給を室戸市独自でできないか聞く。

答 支援対象者等の具体的な内容を早急に検討し、支援策を提案したいと考える。



☆18歳までの医療費無償化について

問 昨年12月議会で18歳まで無料になるのはいつからかと聞いた。令和5年早期に実施することのことが発表された。同時期に実施すると発表した田野町は今年4月から実施している。

答 遅いではないか。本市はいつから実施できるか聞く。

問 関係する条例の改正や予算化について提案し、システム改修等を行い、令和6年1月からの実施を目指す。



☆市民館館長配置について

問 市内6館ある市民館に専任館長が配置されていたが、本年は行当と吉良川が2館兼務の館長配置となっている。これからもこのようなり方で市民館を運営するのか聞く。

答 専任館長を配置する必要性は理解しているが、普通退職者や育児休業、病気休暇の職員の増加等により、各課への適切な職員配置に至っていない。

今後職員の採用や組織全体の職員配置の見直しにより、早期に今の状態を解消するよう努める。



☆同和对策事業の縫製工場について

問 仕事保障のためにつくられた縫製工場が閉鎖をされた。時が流れ、特に佐喜浜と羽根の老朽化したこの建物は、周辺住民に悪影響を与え、困っている。取り壊し予定時期はいつか。このまま置いておく必要はあるのか聞く。

答 施設の老朽化が進んでいること、また、周辺環境への影響等を考え、室戸市遊休財産有効活用等検討委員会に諮り、施設の取り壊しを含めた検討を行っている。

久保田 浩 議員

☆市政運営について

問 住民投票の投票結果を真摯に受け止め、庁舎移転建て替え計画を断念する時期ではないか聞く。

答 住民投票においては、移転建て替えよりも耐震補強工事などが望ましいとの投票数が2倍以上の結果となったことについて、大変重く受け止め、慎重に検討していく。



問 あおぞらだんち分譲に係る損失について、2950万円以上の損失、歳入欠陥であるが、どう考えているのか。販売単価の考え方が誤っているのではないか聞く。

答 人口減少対策の一環として行ったもので、定住による今後の税収や生活消費などの経済波及効果を見込んでおり、損失とは考えていない。販売単価についても不動産鑑定で設定したことから適正であると考えている。

問 子育て支援について、市長の公約である養育費の支給はいつから行うのか。その金額も聞く。

答 今年度実施する子どもや子育て世代、若者等に対するニーズ調査結果に基づき、有識者の意見をいただきながら、その方向性を検討し、要望の多い施策の具現化に取り組みでいきたいと考えている。



問 市長の行動について、市外業者との飲食に職員を同席させるのは不適切ではないか聞く。

答 情報交換や信頼関係を構築するためにも大事であると考えている。会食も民間企業と割り勘で行っており、公務員の倫理規定でも認められていると認識している。

☆室戸中学校について

問 避難場所からの除外について、室戸中学校の校舎の屋上が避難場所から除外されているが、高さが必要なのか、それとも強度不足なのか聞く。

答 高さや強度不足ではない。津波発生時の波に対しての耐浪性がないことが調査の結果解ったことから避難場所から外している。

問 県教委との協議内容について、室戸中学校の室戸高校周辺への移転に総

事業費31億円を計画しているが、室戸高校の県道側の校舎は、あまり使用していないように見えるが、学校施設使用の申し入れ等は行ったのか聞く。

答 県教委高等学校校振興課、高校の現場サイドと協議を行った。生徒数が減少しているため、総合学科であることから、生徒の選択により少人数でも同じ時間帯にいくつかのコースに分かれて授業を行う必要がある、使用する教室が多いとの話があった。

☆燃油、物価高騰対策について

問 市民生活への対応策について、市独自の支援策は行わないのか聞く。

答 早急に検討を行う。



問 公共事業への対応はどうか、スライド条項の適用は行っているのか聞く。

答 スライド条項を適用した工事はない。公共事業については、直近の資材価格、労務費を用いて発注している。今後も適正価格での発注に努めていく。

問 農業用施設整備補助金の見直しが必要であると思うが聞く。

答 園芸用ハウス整備事業費補助金については、補助対象限度額の増額を始め、補助率のかさ上げや、補助対象経費の追加など、協議のうえ検討していく。



山本賢誓 議員

☆市政運営全般について

問 県管理河川堆積土砂の撤去について、至る所の河川に土砂が堆積し、増水時には農地や民家が危険にさらされている。市長、市議会が一緒になって関係機関に相談に行くべきではないか聞く。

答 議員の協力も得ながら高知県への要望を行っていく。



問 庁舎問題に関する諸意見について、庁舎問題に民意の着地点ははっきりしている。議論はこれ以上不必要である。一時も早く耐震補強工事をして地震津波対策を行うことが市民の命を救うという

ことである。これがないなら市長に即刻退陣を願いたい。庁舎問題についてアイデアを聞いたり議会との話し合いはやるのか聞く。

答 耐震補強、改修工事の内容を市ホームページ等により意見公募をし、工事内容に反映させたい。



問 民意について、住民投票で公明党前議員と二人の議員が提出した50%枠の修正案が今も尾を引いている。県議の新築移転支持、議員半数の移転支持により植田市長の強硬な姿勢の支えとなっている。民意を尊重する、しないの判断基準は何か聞く。

答 住民投票、決議、市議会議員選挙など耐震化への意見が強くなっているように受け止める。議論を重ねて慎重に判断する。

問 室戸市の将来における適正職員数について、急速な人口減少は適正規模の庁舎の床面積にも大きく関わる。10年後、20年後の人口推計と適正職員数を聞く。

答 現在正職員257人、会計年度任用職員は160人合計417人である。22年後の人口推計は、4579人である。人口減少率と同様に職員数を減少させると20年後には職員数112人となるが人口が半分になっても職員数が半分ということにはならないが、人口減少に伴い職員数を減少させる必要はある。

問 市議会議員選挙における市長の対応について、市議会議員選挙に市長はまたしても候補者の選挙

カーに乗ったりマイクを持って応援をした。議員、議会は行政のチェック機能である。議会の中で審議のできない議員らしからぬ行為となる。何とも思わないのか聞く。

答 3名の候補者の応援演説をした。何の問題もないと認識している。

問 市長の市政運営に対する姿勢について、一期目を振り返っての発言で「敵と味方とスクラムを組んできた」と特異な表現があった。敵とはどの部分を指すのか聞く。

答 敵というのは私と違った意見の方々をあげた。

問 「行政と市民の溝が大きくなっていると感じた。残念である」との発言があるが、その原因を何と思うのか聞く。

答 意見の食い違い、十分な説明が足りず理解いただけないことを反省した言葉である。

問 庁舎問題について「市民に決めてもらう、決めるのは議会」と何度も言っているが市長はこの意味が分かっているのか聞く。

答 「市民の代表が議員なんだ」のご指摘のとおりである。議会の皆様が最終決定されるということである。



竹中多津美 議員

☆突然の休校、休園について

問 突然の休校、休園になった場合、島根県松江市や福岡県福岡市等では風水害時等に保育所で臨時休校、休園の対応をしているが、室戸でも対応できないか聞く。

答 お聞きした結果まずは、両親が気兼ねなく休みが取れる職場環境づくりや意識の醸成を図る必要があるという思いである。

今後は、市民や市内事業者等と連携しながら、地域全体で子育て世帯を応援するまちの実現に向け、全力で取り組んでいく。



☆市外からの転入者の転入先について

問 集合住宅型の住居を整備して欲しいとの要望や移住者や協力隊員への住居について、今後どう対応される計画なのか聞く。

答 今後、今ある資源を最大限活用しながら、移住希望者等のニーズを把握しつつ、遊休財産の有効活用による集合住宅型の住居整備を含め、総合的に検討していく。



☆韓国野球の受入れ体制について

問 ラオン高校やジュニア野球チームが室戸で合宿すれば、どのような経済効果がどのくらい見込まれるのか。また、要望事項があるのか。あればその内容と対策を聞く。

答 経済効果だけでなく、室戸広域公園をはじめとする室戸市中央公園等の室戸市内の社会教育施設の利用率の向上にも繋がっており、室戸市の活性化に役立っていると考える。

そして、ラオン高校からの要望の一部について、備品の防球ネット数の追加やブルペンの改良等可能なものについては、すぐに改善し、少しでも使いやすく感じていただけるような対応に努めていく。



澤山 保太郎 議員



☆「豪華な役所」
発言について

問 市長は議員への答弁で説明会場で「豪華な役所を建てる」という発言はしていない澤山氏後援会ニュースは事実ではないと答えているが議事録には間違いなくそのように記載されているではないか聞く。

答 昨年4月20日に市役所会場で市民から、「そんな大きな箱物を建てたつて何にもならん」と言われたので私は「そんなに厳しい人口減少、子どももない室内の中にこんな豪華な役所を建てない

かんということでありますけれども」と言っています。というのは市民の「大きな箱物」ということとの比喩で言ったことです。

☆住民投票投票率
について

問 本年2月19日の住民投票の結果は尊重義務のかかる50%を実質的に超えていた。

市のチラシでは、市内に住民票を有する者を有権者としていたがそれだけでは奈半利町の事件の様に法律違反となる。公選法や条例では、市内に住所を有する者が有権者である。国勢調査の世帯数は住民票よりも一千数百世帯少ない。正しい有権者の数で計算すれば投票率は60%近い。さきの市議選では92件の不在世帯から葉書が返っていた。有権者の実態を把握して投票率を計算したのか聞く。

答 一人一人の実態の把握は困難である。



☆企業立地促進補助金について

問 法律では私企業へ補助金の支給には公益性の立証が必要である。数千円円の巨額の補助金に公益性があるのか聞く。

答 新たな雇用の場の創出など一定の効果があつた。問 5つの特定の企業へ優遇ではないか聞く。答 公平性は保っている。問 代表者の納税証明には市外の首長のものもあるか聞く。答 補助要綱で支店の代表者が市内在住であることとし、補助事業が完了の日までに居住するとしている。

☆市営住宅について

問 市営住宅の家賃は年約1億円である。修繕は毎年数千万円にすぎない。残りは何に流用しているのか。家賃の取りすぎではないか聞く。

答 維持修繕費や建替工事費、起債償還などに使っている。

問 屋根の雨漏り、ドアの故障、トイレの水洗化などが訴えられても予算がないといって相手にされないという。どうなっているか聞く。

答 公営住宅法では必要であれば遅滞なく修繕するとなっている。可能な限り早急に対応する。

総務文教委員会委員長報告（条例・その他）

委員会開催日	令和5年6月23日
付託件数	3件
審査経過及び結果	下表のとおり

■議案第2号 室戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
どのような職員に当てはまるのか。	室戸市の職員に対して支給するもので、室戸岬診療所に勤務する医師、看護師及び消防職員が対象である。	原案可決

■議案第3号 室戸市火災予防条例の一部改正について

質疑内容	答弁内容	審査結果
質疑なし		原案可決

■議案第6号 令和5年度吉良川サブセンター及び佐喜浜サブセンター施設通信系更新工事請負契約の締結について

質疑内容	答弁内容	審査結果
サブセンターとはどういう意味か。 また、今回の契約内容について聞く。	メインの室戸センターが市役所4階にあり、メインセンターを補完する施設として吉良川サブセンター、佐喜浜サブセンターを置いている。 通信機器の導入から10年以上経過しており、今回交換を行うものである。	原案可決



総務文教委員会委員長報告（予算）

委員会開催日	令和5年6月23日
付託件数	1件
審査経過	下表のとおり

■議案名：議案第4号 令和5年度室戸市一般会計補正予算（第3号）について

審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
総務課		質疑なし	
財産管理課		質疑なし	
まちづくり推進課	2-1-6-12 AI講習委託料	AIとはどういうものか。	AIとは、人工知能のことであり、人間の思考プロセスと同じような動作を行う。 自分で学習し、認識・理解を繰り返し行うことで、自己学習により進化していくプログラムである。
福祉事務所	3-1-1 社会福祉総務費	価格高騰重点支援給付金に関する事務費がかなり多く計上されているが、かかり過ぎではないか。	事務費に関しては、国から1件当たり2,500円を上限とする通知があった。 事務費は必要最小限とし、必須となるシステムの改修や通信運搬費等を計上しております。
防災対策課	2-1-13-21 工事損害補償費	予備費の充当ではなく、予算計上をした理由は何か。 また、示談できそうなのか聞く。	年度当初のため、補正予算で計上した。 また、示談については事後調査が終了した後、示談交渉をしており、特段問題なく進むと考えている。
保健介護課	4-1-2-7 個別接種促進事業報償費	事業内容について聞く。	コロナウイルスの個別接種を行っている診療所のうち、週100回以上の接種を4週以上実施した場合に、1回あたり2千円の報酬を支給するものである。 昨年までは、都道府県が補助の実施主体となっていたが、今年度から、国の「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業実施要綱」が一部改正され、市町村が実施主体となった。
	4-1-2-21 新型コロナワクチン予防接種健康被害救済給付費	給付金を支給する事例があったのか聞く。	今回は、新型コロナワクチンの接種による健康被害の可能性が否定できないものとして認定を受けた1件の事案について、死亡一時金と葬祭料を支給する。

こども支援課	3-2-4-13 保育所駐車場用 土地賃借料	駐車を整備した経緯について聞く。 また今回計上した額は、年間での金額か。	羽根昭和保育所については、整備された当初から駐車場としての整備はされておらず、その確保が課題となっていたため、職員だけでなく、保護者等も使用できるよう民地を借り上げるものである。 今回計上した賃借料は、7月から3月までの9か月分を計上しており、年間では10万5千円弱になる。
産業振興課	6-1-2-18 創業・事業承継 支援事業費補助金	今回の補助金は、どういった方が対象となるのか。	新たな事業を創業される方等が対象である。
観光 ジオパーク 推進課	6-1-3-12 むろと海の学校 ろ過システム導入 委託料	委託内容について聞く。	取水量が足りず、また水質も悪いことから、新たな取水を行うための測量設計を現在実施しているが、工事完了まで約2年かかるため、その間は、ろ過システムを入れて飼育を行いたいと考えている。 水族館に材料の購入から設置までを総括して行っていただくための委託業務である。
	6-1-3-18 観光コンテンツ 造成支援業費補助金	事業内容について聞く。	今年度、観光庁の補助事業を利用し、伝統的特産物である土佐備長炭を活用した旅行商品を造成するものに対する補助金である。吉良川の町並みで備長炭の歴史を学んだり、備長炭パン等の炭グルメや備長炭を使ったバーベキューを堪能いただく。 また、炭アクセサリーの作成といった体験コンテンツを組み合わせた旅行商品としている。
学校教育課	9-2-1-14 校舎等補修整備 工事費	工事内容の詳細について聞く。	室戸小学校の消火栓設備の改修工事である。 業者との協議の結果、全体のやり替えでは高額となるため、全てパッケージ型の消火栓に交換する。
生涯学習課	9-4-4-12 吉良川教育集会所 解体工事設計 委託料	他の市町村でも公共施設解体時には、設計委託を行っているのか。	近隣8市町村に問い合わせたところ、7市町村から回答があり、5市町村が委託業務を行っていた。 その他1団体は、解体工事自体の事例がなく、もう1団体は東洋町で小規模なものに関しては、職員が行っているとの回答であった。



産業厚生委員会委員長報告（予算）

委員会開催日	令和5年6月23日
付託件数	1件
審査経過及び結果	下表のとおり

■議案名：議案第5号 令和5年度室戸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について
 審査結果：原案可決

所管課	款項目	質疑内容	答弁内容
保健介護課	(歳入) 9-1-1 繰越金 (歳出) 4-1-1 介護給付費 準備基金 積立金	介護施設の関係も非常に厳しい中、この8,200万円という繰越金の要因について聞く。	介護給付費のなかで、介護施設給付費が令和3年度と比較して約6,400万円減少している。令和3年度中に介護保険対応の介護療養病床が医療保険対応の医療療養病床に転換したことが一因ではないかと考えている。



第99回 全国市議会議長会において議員表彰を受けられた方々

特別表彰 市議会議員 20年以上 山本 賢誓 議員

一般表彰 市議会正副議長 4年以上 亀井 賢夫 議員

第85回 四国市議会議長会において表彰を受けられた方々

特別表彰 市議会議員 32年以上 町田 又一 議員

特別表彰 市議会議員 20年以上 山本 賢誓 議員

特別表彰 市議会議員 16年以上 脇本 健樹 議員

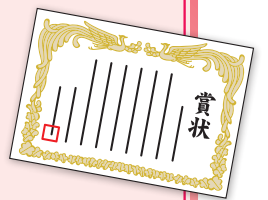
特別表彰 市議会議員 16年以上 久保 八太雄 前議員

特別表彰 市議会議員 16年以上 濱口 太作 前議員

特別表彰 市議会議員 12年以上 小椋 利廣 議員

特別表彰 市議会議員 12年以上 亀井 賢夫 議員

一般表彰 市議会議員 8年以上 竹中 多津美 議員



定例会の傍聴にお忙しくて
来られない市民の皆様へ

行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に!」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしておりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

〈編集委員一同〉

議会の傍聴に
おいでください。

次の議会定例会は
9月上旬です。



議会事務局 ☎ 22-5140

閉会中の主な議会活動

3月27日 令和5年第1回ごめん・なはり線
活性化協議会総会に議長出席

3月27日 議会運営委員会開催

3月28日 令和5年第1回安芸広域市町村圏
特別養護老人ホーム組合議会定例
会に議長出席

4月4日 第142回 高知縣市議会議長会定期
総会に正・副議長出席

5月29日 総務文教委員会開催

5月30日 産業厚生委員会開催

6月8日 第85回四国市議会議長会定期総会
に正・副議長出席

6月13日 議会運営委員会開催

